

照陽の家だより

暑中お見舞い申し上げます

もはや地球温暖化ではなく「地球沸騰化」などと表現された今夏。5類に引き下げられた新型コロナウイルス感染症もお盆を前に拡大方向にありどれもこれも不安材料でしかありません。でも照陽の家ではそれらを吹き飛ばすように高齢者パワーが炸裂!! 8月恒例の「すいか割り大会」です。朝から氷水に漬けておいた冷えたスイカを皆さんで触りました。「おーおーよう冷えとる」「ええ音するわ」とたいたり触ったりしてもらおうと自然に童心に返ったようないい笑顔を見せて下さいました。その後、すいか割りスタート。遠慮がちに棒を受け取られながらも、いざスイカの前に立たれると、皆さん渾身の一撃! さすがでした。何人かの方に叩いていただくうちに見事ぱっかん! おもわず歓声が上がりました。感染対策に十分配慮しながらその場で切り分け、さっそく召し上がっていただきました。色々ありますがみんなで割ったスイカの味はまた格別でした。



こんにちは ! 訪問看護ハートケアです。



今、ハートケアでは「アドバンス・ケア・プランニング」= ACPについての勉強をしています。7月30日に、「高齢者医療とACP ~ユニバーサル・ホスピスマインドをすべての人生のそばに~」というテーマで、横浜にあるめぐみ在宅クリニックの小澤先生をお招きした公開講座が米子市で開催されました。小澤先生はNHKのプロフェッショナルの出演等、書籍も多数出版されている方です。会場では在宅医療で日頃から関わりある先生方やクリニック、病院のスタッフも大勢参加され、良い交流の場でもありました。“誰かの支えになろうとしている人こそ一番、支えを必要としています”先生が講義でいつも話されるとても温かい言葉です。皆さんはどんな事を感じるでしょうか。私たち看護師も勉強をしながらではありますが、次月のお便りから、皆様に“ACP 人生会議”について毎月お伝えしていければと思います。

◎令和5年 第2回運営推進会議開催しました。

7月21日(金)午後15時から照陽の家お日様交流室で開催しました。参加者は米子市長寿社会課、米子市義方湊山地域包括支援センターの職員の方々、また照陽の家運営推進委員の方々、照陽の家職員の合計11名のメンバーです。照陽の家運営状況並びに活動状況のご報告の後、地域課題について様々なディスカッションをしました。



照陽の家は住み慣れた地域において、高齢者の方、お子様、地域の方、誰もが集い、多様なサービスや活動の中で支え合う拠点です。



私のほんこほんこエピソード



介護士
澤田 清美

こんにちは! 介護士の澤田清美です。先日の七夕会では、照陽の家の利用者様がいろいろな思いを込めて一生懸命お願い事を考えてくださいました。その中の1枚に「つよく長くやさしく」とありました。書いてくださった方の生きざまを垣間見たような気がしてグッときました。ご利用いただいている方は様々です。「ありがとう」といつも自然に声をかけてくださる方。その一言にお人柄がにじみ出ています。「気を付けて帰りなさいよ」と言ってくださる方。幼心のような感覚がふと戻ります。「ほんこほんこ」と頭を撫でてくださる方もいます。この時は母に会いたくなり、ちょっと泣きそうになりました。何か言うといつもかわいい笑顔を返してくださる方。笑顔の力は絶大です。息子さんの事を「宝だ」と素直に言われる方。癒されエピソードは挙げるときりがありません。「私もこんな人でありたい」と思うことが度々あります。私は皆様のサポートをさせていただく側なのに、労われることの方が多くあり難く思う毎日です。